

第18回 「風車の書画展」 作品公募のお知らせ

今年で第18回目を迎える「風車の書画展」は、芸術の楽しさ、素晴らしさを体験したいという方なら、どなたでも参加できます。出品者は主婦、学生、サラリーマンと様々です。

昨年の「絵画の部」に出品されたOさんは、平成23年生まれの5歳（出品当時）は、「奨励賞」を受賞。「書の部」に出品された大正13年生まれ（出品当時91歳）のIさんは、「金賞」に入選しました。

このように、当展には幅広い層の方々が毎回応募されます。そして、年齢やこれまでの経験、経験などに関係なく、公平な審査が行われますので、どなたにも入選のチャンスがあります。

（※入選作品はすべて、上野の森美術館に展示されます。）

当展は、一人で2点までの出品ができます（書か絵画の部に各2点、または書・絵画の部に各1点）ので、どうぞ、ご自身の出品に加え、ご友人やご家族にもご紹介頂きたく存じます。一人で多くの方々の出品をお待ちしております。



第16回「風車の書画展」開幕式のテープカットの様子

（左より）武田史子審査員【絵画】、荒川明照審査委員長【絵画】、半田晴久（深見東州）会長、福島輝子審査員【書】、宇野義行審査員【絵画】

無料で、審査の先生方の「講評」が受けられる…！

また、入選された方は全員、展覧会初日の開幕式終了後に行われる「講評会」で、展示されてる自分の作品についての講評（選考基準の説明を含む）が受けられます。

（※事前予約が必要です）

この講評会は、審査に当たられた先生方が、さまざまな作品を通して、個々の講評をされますので、入選された方、選外になった方を問わず、今後の作品制作のための、「ヒント」が得られる、貴重な機会と申せましょう。

（※もちろん、一般来場者の方も、その様子を聞けます。）



（↑）加藤先生による講評会



（↑）荒川先生による講評会



（↑）福島先生による講評会



（↑）松下先生による講評会

（↑）山本先生による講評会



（↑）宇野先生による講評会



（↑）【絵画の部】審査の様子

さらに、審査員の先生方のアドバイスを、ホームページにて配信予定です！

また、当協会では、「どうしたら入選できるのか」「もう一ランク上の賞をとるために、どこに気を付ければいいか」等の、審査員の先生方のアドバイスを無料で動画配信する予定です。

（これは、作品審査時に、審査員の先生方からコメントを頂き、編集したものです。）

★この動画は、審査結果発表後、IFACのホームページ (<http://www.ifac.or.jp>) にてご覧頂けますので、ぜひ今後の参考として、お役立て頂きたく存じます。



（↑）【書の部】審査の様子

「風車の書画展」に寄せられたアンケートより

私もチャレンジしてみたい！

ほぼ毎年、観に来ていますが、巷の一般的な展覧会よりも、一番素晴らしいと感じております。いたるところに沢山の絵や書が飾られていて、その作品にはとても感激いたしました。私は絵も書も、全くと言っていいほど経験がありませんが、チャレンジしてみたいと思いました。

(48歳 女性)

創作意欲がわいてきました！

とても素敵な作品を観て、私ももっとがんばろう！と創作意欲がわいてきました。賞をとられた方の作品は、どれもひねりのあるものや、ひと味も二味も工夫をこらしており、常識の範囲から飛び出た面白いものが多く、日頃の生活を忘れさせてくれました。

(30歳 女性)



来場者から

息吹を感じる展覧会！

初めて会場に来させていただきました。皆様の作品は、毎年HANDA.TVで拝見しておりましたが、やはり本物に直に触れ息吹を感じると、感動も大きいですね。半田会長の素晴らしい作品に出会えたことも幸運でした。皆様の1年間のご精進に頭が下がりました。

(46歳 女性)

気持ちが明るくなりました！

ユニークな作品など、たくさんあり面白かったです。色彩もカラフルなものが多く、その色鮮やかさに目を奪われ、気持ちが明るくなりました。

(31歳 女性)

開幕式の言葉や講評会が勉強になります！

今回で10回目の出品になりますが、開幕式の言葉、講評会のアドバイスは勉強になり、毎年楽しみにしています。活かされる場を作ってください、感謝しております。

(46歳 男性)

誰でも参加できる！

書と絵画、色のあるなし、文字か絵か、そんなこだわりをなくして観ることができました。芸術は好き嫌いか、美しいか美しくないか、そんな自分の思いで観ても楽しいと思いました。肩に力を入れず、製作者として鑑賞者として、誰でも参加できる良さを、本展から再認識させられました。(52歳 女性)

楽しいのは観るより描く方ですね！

来年はぜひ応募したいです！ 楽しいのは、観るより描く方ですね。(55歳 女性)

みとれてしまいました！

「誰でも応募できるという公募は珍しい」と、開幕式の挨拶で言われ、素晴らしいことだとつくづく思いました。力作から、かわいい少女が描いた作品まで、目を凝らして見せていただきました。特に深見東州さんの「富士と天女の羽衣」の作品の前ではしばし立ち止まって、富士の迫力と天女羽衣の何ともいえない色づかいがとてもきれいで、みとれてしまいました。

(63歳 女性)

寄せられた声



充実した幸せな時を過ごせました！

発想の自由さ、のびのびした構図と色づかいの華やかさ、全ての作品に温かい作者の目と心を感じられ、感動しました。充実した幸せな時を過ごせました。

(62歳 女性)

おもちゃ箱の中身のようにキラキラしている！

様々な方々の色々な作品が、あたかも子供の頃のおもちゃ箱のようにキラキラしていて、とっても楽しくなりました。しかも、その中に息子の絵があるのを見て、「息子に負けていられない。来年に向けて私もがんばろう。」と前向きに思いました。

(52歳 女性)

「風車の書画展」に寄せられたアンケートより

こんな大きなところに展示されてうれしい！

自分の書の作品が展示されてあり、うれしくて、とうとう会社を休んで東京、上野まで来てしまいました。こんな大きなところに展示されてるうれしくなります。

(44歳 男性)



ポスターに誘われて！

「空飛ぶ赤い帽子」のポスターに誘われて伺いました。素晴らしい作品ですね。「今日の上野はこの書画展だけで充分だね！」と、妻と話しています。ありがとうございます！

(72歳 男性)

しがらみや位置に関係なく、選んで頂ける展覧会は他にはありません。

この書画展のように、しがらみや位置に関係なく、手作りの額でも、作品がよければ選んで頂ける展覧会は、あって欲しいものですが他にありません。上野の森美術館のようなところへ、飾って頂けるのも感激です。他の書や絵をかいてる友人にも、思わず宣伝していました。もっと早くに出せばよかったです！と強く思っています。

(59歳 女性)

このような展覧会に、無料で入れることも、とても嬉しいです！

たくさんの趣旨の絵、種類の絵をたくさん見れて、また絵だけでなく、書道もあって、非常に楽しめました。中には一般の方とは思えないセンスを持ってる作品もあり、驚くこともたくさんありました。

このような有意義な時間をすごせる展示会に、無料で入れるということ、とても嬉しいです。ぜひ次回も来させて頂きたいです。

(24歳 女性)

